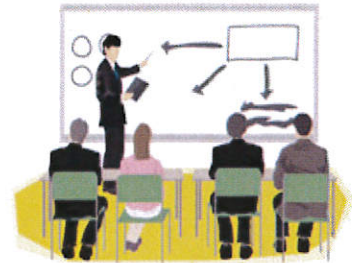


## 【病院経営における教育体系の構築】

1. 教育体系を構築する意義は何か
2. 専門性と業務遂行の両面を兼ねて備えているか
3. 達成目標が共有化されているか



## 1. 教育体系を構築する意義

これからの環境を考えると病院運営を大きく変化せざるを得ないことが明白ですが、医療政策等がどのようになるのかがまだ明確にはできないために、対応の仕方が無いと考えるのが一般的です。しかし、すでに変化は日常的に発生しており、変化への対応が病院運営では重要な事であることは間違いありません。(モンスターパシエントの出現他)

したがって、病院としてはそれに対応出来る人材の育成が必要ですが、多くの場合、新人教育以降は本人の自主性に任せているのが実情だと思います。しかし、それでは病院が望む人材に育たないばかりか、期待する方向とは違う人材を育成することにもなりかねません。

そのために、病院が必要とする人材像を明確にし、病院が抱く人材像に近づけるための教育とその体系化が必要となります。つまり、病院にとっての教育体系とは、病院が必要とする人材像を明確にし、そのような人材になるための教育システムと内容を構築することだと言えます。したがって、単に教育を行えば良いと言うことではありません。

## 2. 専門性と業務遂行の両面を兼ね備えているか

多くの病院では、教育体系を構築する場合、専門性に重点が置かれていると思います。確かに、医学の進歩や医療技術の高度化は日進月歩で、新しい医学的な知識や技術を習得することは重要なことです。しかし、新たな医療の専門知識や技術を習得しても、病院運営がうまくいくとは限りません。むしろ、専門性のみが前面に出しまえば日常の業務に支障が発生することも多くなると考えます。

他の職員と協働し、報告・連絡・指示・相談ができること及び管理・運営・育成・調整等が行えるような考え方を持つための教育も必要になります。つまり、医療機関にとっては専門能力を高度化すること、チームとして働ける人材に育成することが大事です。したがって、教育体系の中には専門性と業務遂行能力を高める内容を盛り込む事が必要だと考えます。

## 3. 達成目標が共有化されているか

教育体系を構築して職員を教育するために必要なことは、その教育を受ける目的と何を習得するかをの目標を理解させることであり、それにより教育への参加意欲も高まります。したがって、病院の目標⇔各職場の目標⇔各人の目標というように、病院の目標と各人の目標が一致しないし、関連性を持たせていることが重要だと言えます。

このように病院に教育体系を構築する意味は、病院の目標を達成するために、そこに勤務する職員各自が目標を持ち、各人の目標が達成出来るためのシステムを構築するということになります。したがって、各人の目標が達成できれば病院の目標も達成できる事となります。つまり人的な経営基盤が構築できることとなります。



## 【事業計画の設定ポイント】

1. 具体的な目標を考える
2. 目標達成に向けた方針を設定する
3. 目標達成の行動計画を設定する



### 1. 事業計画設定の意味

事業計画を策定する意味は、次の通りです。

- ①病院と各部署の目標の共有化を図る(目標は職員の希望となる)
- ②目標の実現に向けて対応策の共有化を図る(対策は職員の行動になる)
- ③院内の意思統一を図る(職員の行動指針となる)



### 2. 具体的な目標

病院における具体的な目標としては、「数値」を掲げる場合が一番多いと考えます。しかし、この数値目標を達成するために経営組織自体の高度化が必要となります。つまり、経営組織の高度化によって数値目標が達成されるという考え方であり、経営組織の高度化の目標も必要になると言うことです。経営組織の高度化目標を「体制目標」として表します。

したがって、病院における具体的な目標として「数値目標」と「体制目標」の二つがあると考える事が出来ます。

病院における数値目標とは、「収益」「利益」が主要な内容としてあげる事が出来ます。それ以外にも現場によって各種ありますが、要は現場の業務を数値に置き換えたものが数値目標と言うことができます。例えば、ベッド回転率、検査件数、減点率、等々があります。また、体制目標としては、「〇〇ができるようになる」や「〇〇のサービスを展開する」等を掲げることができます。すなわち、それは各部門や部署のサービス内容を高度化することを意味しています。

### 3. 目標達成に向けた方針の決定

事業計画を策定するのに必要なことは、病院全体としての方針を設定する事であり、その方針に沿って各部門や職場で事業計画を設定することとなります。方針の内容としては、「患者ニーズへの対応」「職場環境の向上」「医療技術の高度化」等々を掲げますが、それは経営トップ層の意向を踏まえた内容であり、それに沿った事業計画を策定することとなります。

### 4. 目標達成に向けた行動計画の明確化

病院や各部門や職場の目標と対応策が決定した時点で実施するための行動計画を設定することとなります。その内容は「何時」「誰が」「何をするか」を、時系列に明確にすることです。例をあげれば、「収益」を確保し「ベッド回転率」を維持するために、「毎日」「師長が」「各部屋の状況を確認し」「入院状況」をベッド調整会議で報告するという事等です。教育についても同様であり、目標に到達するために時間と研修内容等を決め時系列に設定することとなります。